

ハマナ サービスニュース

お客様

株式会社 浜名ワークス

冬季のエアバルブ凍結防止について

エアライン内に水が入ったり、トラクタからの供給エアに水分が多く含まれる場合、関係する補機部品に腐食が発生したり、冬季においてその水分が凍りエアバルブ類が正常に機能しなくなったりして思わぬ事故が発生する場合があります。

エアバルブの凍結防止のため、運行前及び運行中並びに定期点検整備時には以下の内容に十分配慮し点検整備を行なって下さい。

1. 運行前点検について

運行前にエアタンク内の水抜きを行なって下さい。

トラクタ側の点検方法はトラクタの取扱い説明書を参照して下さい。

トレーラ側エアタンクの点検は、平坦な場所でタイヤに輪止めをセットし、トラクタの駐車ブレーキが作動していることを確認の上、エアタンク下のドレンコックを開け水が溜まっていないか点検します。点検後はコックを閉めエアを充填してください。



トラクタ側水抜き例



トレーラ側水抜き例

点検時、水などが排出されたときは、エアドライヤー内の乾燥剤の劣化が考えられますので整備工場での点検を受けて下さい。

2. トラクタのエアドライヤーの定期点検整備について

エアドライヤーはトラクタメーカー指定時期に乾燥剤等を交換して下さい。また、エアタンクから水が出た場合はエアドライヤーの点検整備を受けて下さい。

3. 運行時の点検整備

1) 冬季の発進時トレーラのブレーキが効いている感じがする場合

バルブ凍結の恐れがあります。外気温の上昇を待つか、バルブをお湯等で温め整備工場での点検を受けて下さい。

2) 運行中にトレーラABS警告灯が点灯した場合

車両停止状態でトレーラABS警告灯が点灯していても、車速が7km/h以上に達した時に消灯す

れば正常ですが、**車速が7km/h 以上で走行している時にトレーラABS警告灯が点灯した場合は必ずブレーキコントロール系統に何らかの異常が発生しています。直ちに安全な場所に停車して点検を行なって下さい。**

異常が見つからない場合でも整備工場での点検を受けて下さい。

4. リレーエマージェンシバルブの点検・整備について

1) EBS付トレーラ

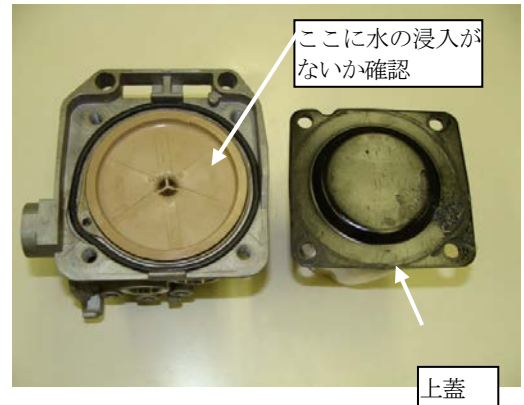
従来EBSリレーエマージェンシバルブ（ワブコ製）は非分解としておりましたが、バルブメーカーが分解整備を許容し可能となりました。

6ヶ月毎にEBSリレーエマージェンシバルブの上蓋を外し水の浸入の有無を点検し、水滴などがあればエア等で除去して下さい。

また、ナブテスコ製同様に1年又は5万km 走行毎にリレーエマージェンシバルブの分解・整備を実施して下さい。組付け時はピストンOリング部とOリングが接触するシリンダ部にシャシグリスを塗布して下さい。

但し、圧力センサ内蔵タイプのセンサ部は非分解となっています。ご注意下さい。

(右図参照)



〈リペアキットについて〉

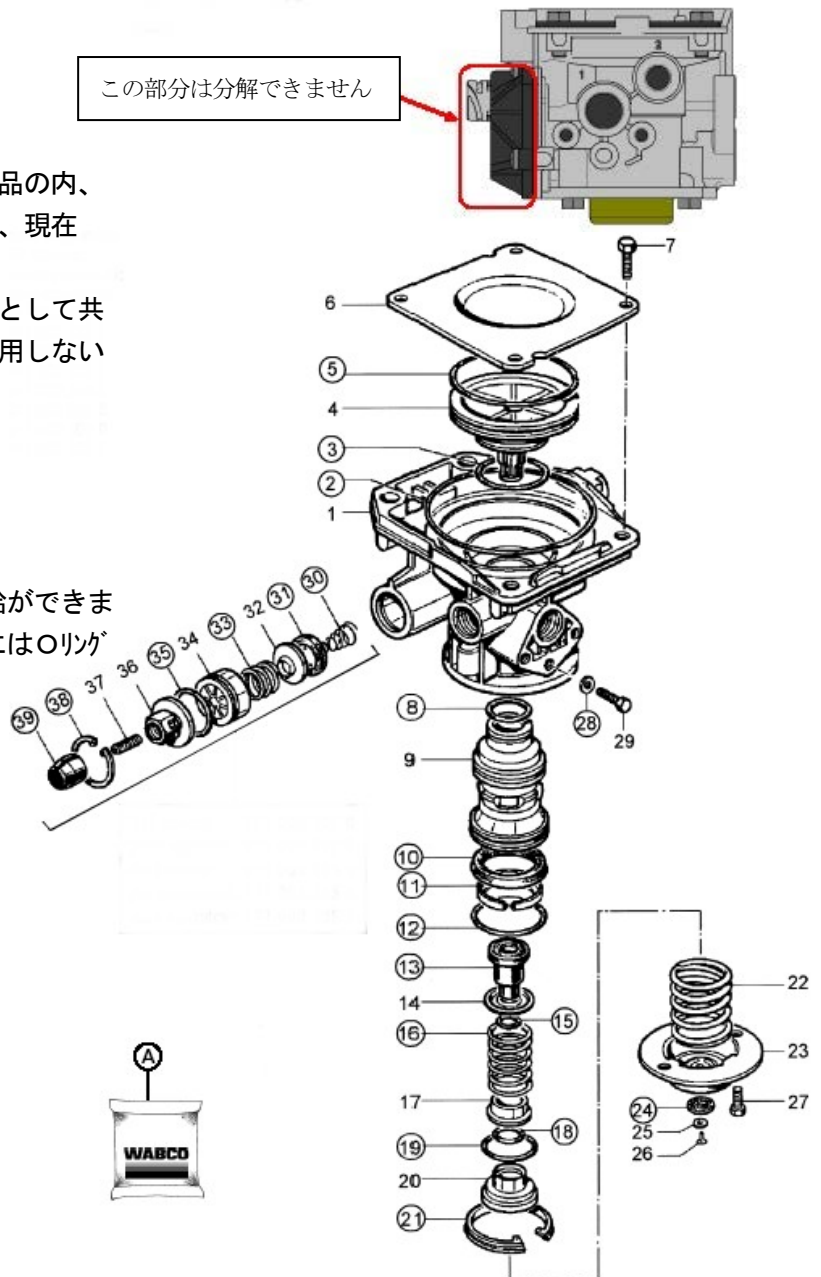
リペアキットは下図の構成部品の内、照番が○印で囲まれたものが、現在キットとなっています。

このキットは複数のバルブ用として共通化されておりますので、使用しない部品がある場合があります。

リペアキット品番：

971 002 008 2

注)：Oリング単品では部品供給ができませんので、上蓋の脱着時にはOリングを傷付けないようご注意ください。



- 2) ABS無し 及び ABS付トレーラ (ナブテスコ製RE-6、RE-6E型リレーバルブ使用車)
従来通り、**1年又は5万km 走行毎**にリレーエマージェンシバルブの分解・整備を行なって下さい。
**また、6ヵ月毎にEBSリレーエマージェンシバルブの上蓋を外し水の浸入の有無を点検し、水滴
などがあればエア等で除去して下さい。**

5. バルブヒーターのオプション設定について

弊社ではこの度、登録済みトレーラを含むトレーラ全車にリレーエマージェンシバルブ用の「バルブヒーター」をオプション設定いたしました。

「バルブヒーター」は冬季、運転席でバルブヒータースイッチを「ON」にすれば、トレーラのリレーエマージェンシバルブに取付けられたサーモスタット付ヒーターによりバルブが暖められ、凍結によるブレーキの戻り不良を解除 若しくは 凍結防止が可能となります。EBS用とEBS以外用で取付け部の形状が異なりますので、ご用命の際は必ずリレーエマージェンシバルブの種類をご指定の上、弊社サービス部 (TEL : 053-583-1515) にご連絡下さい。



EBSリレーエマージェンシバルブへの「バルブヒーター」取付け例



EBS以外のリレーエマージェンシバルブへの「バルブヒーター」取り付け例

注意事項

- ① 「バルブヒーター」はバルブ内を凍結させない、または凍結を解除する装置です。水分を除去する装置ではありません。取付けによりバルブの点検整備を省略することはできません。
- ② 連結するトラクタに「バルブヒーター」用スイッチの設置が必要となります。
- ③ 「バルブヒーター」スイッチ『OFF』後、長時間駐車した場合はスイッチを『ON』にしても直には効果が得られません。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いします。
(株)浜名ワークス サービス部 ☎ 053-583-1515